

研究課題番号	S-15-2
研究課題名	陸域における自然資本・生態系サービスがもたらす自然的価値の予測評価
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 森林研究・整備機構
研究代表者名	浅野 (中静) 透

1. 委員の指摘及び提言概要

陸域生態系の自然資本としての評価を幅広く研究しており様々な成果を挙げている。レクリエーションや野外学習といった文化的サービスがモデルに組み込まれ、新たな成果が得られたことは非常に興味深い。次期の生物多様性国家戦略への貢献に加えて、地域戦略策定に向けた多大な情報、重要な視点提供のできる成果が得られた。伝統・地域知、あるいは森林管理のシナリオの統合モデルへの今後の組み込みに期待する。最終的な統合モデルの構築に向けて、分析的視点をどう統合して(トレードオフ、トレードオンを考慮して)、生態系や社会のサービス向上を行うかという設計論の今後の提供にも期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S